

◆好調カテゴリー別 金額市場規模前年比一覽

主食		
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.8%と前年を上回った。値上げによる価格上昇が影響しており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られた。 「菓子パン・調理パン」：値上げの影響もあるが、手軽に食べられることから外出増により需要も高まったと見られる。 「乾麺」：値上げの影響もあるが、気温上昇によりそうめんやひやむぎなどの販売数量の増加が見られた。 「生麺・ゆで麺」：値上げの影響もあるが、気温上昇により冷やし中華や冷麺などの販売数量の増加が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
主食 TOTAL	105.8	-2.5
米	106.7	-0.3
米飯類	101.4	-2.1
食パン	104.3	-1.2
菓子パン・調理パン	110.5	-0.1
シリアル類		
袋インスタント麺		
カップインスタント麺	100.9	-7.2
乾麺	124.7	7.4
生麺・ゆで麺	106.2	-4.3
スパゲティ	104.4	-6.2
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
プレミックス		

調味料		
前月よりも落ち込んだものの、前年比100.2%とほぼ前年並みとなった。主食と同様に値上げによる価格上昇が続いており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られた。 「蜂蜜、ケチャップ、マヨネーズ」：販売金額は増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は苦戦。そうした中、コスバの良いプライベートブランド商品の販売数量が堅調に推移している。 「煮干し」：値上げの影響もあるが、酸化防止剤を不使用と訴求する商品の好調が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
調味料 TOTAL	100.2	-3.3
醤油		
味噌		
食塩		
料理酒	100.6	0.8
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類	103.8	-1.2
蜂蜜	109.1	4.2
ソース	104.8	-2.9
ケチャップ	107.9	-6.9
マヨネーズ	106.3	-10.1
ドレッシング	100.0	-1.6
香辛料	105.9	2.7
エッセンス類		
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢	100.5	0.1
ほん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節	101.1	2.5
煮干し	111.0	3.7
わかめ・こんぶ類	100.0	-1.3
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油		
ゴマ油		
バター	102.9	-1.5
マーガリン類		
チーズ	104.2	-2.2
ジャム・ママレード	100.7	-1.4

※網掛け  
前年比 105%超: 105.8%

加工食品①		
前月よりも緩やかに落ち込んだものの、前年比105.9%と前年を上回った。 「お茶漬けの素」：値上げの影響もあるが、わさびやたらこ味などの商品で販売数量の伸びが見られた。 「冷凍水産」：値上げの影響もあるが、深層底流水で仕立てたことや大粒であることなど付加価値を訴求する商品の好調が見られた。 「冷凍農産」：値上げの影響もあるが、フロッキーやほうれん草などの野菜のほか、ベリー類やマンゴーなどの果実が好調に推移。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
加工食品① TOTAL	105.9	-0.7
春雨・くず切り	103.2	-5.6
こや豆腐		
海苔	107.3	1.0
ふりかけ	106.8	-2.2
お茶漬けの素	110.2	0.4
まぜご飯の素	100.2	1.8
カレー	105.8	-3.3
シチュー		
パスタソース	102.8	-3.1
シチューベース	100.0	-1.4
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類	103.9	0.3
調理用スープ		
冷凍水産	111.3	-1.1
冷凍農産	120.2	4.8
冷凍調理	108.8	-1.0

加工食品②		
前月よりも落ち込んだものの、前年比102.4%と前年を上回った。 「フルーツ缶詰、魚肉ソーセージ」：値上げの影響で販売金額が伸長したが、販売数量は落ち込んだ。 「パウチ入り食材」：値上げの影響も見られるが、ツナ・サトイモ・パイナップルなどの商品では販売数量の増加も見て取れた。パウチ入りの食品は、封を開けるなどして簡便に使用できゴミ出しも容易であることから、支持されているものと推察される。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
加工食品② TOTAL	102.4	-1.4
魚介類缶詰	100.4	-2.1
野菜缶詰	101.5	2.4
フルーツ缶詰	105.4	7.2
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	110.2	0.9
和風食品	100.1	-1.7
洋風食品	103.0	-2.1
中華風食品		
畜肉ハム	100.7	-2.0
畜肉ソーセージ	100.9	-1.7
魚肉ソーセージ	103.7	2.3
焼豚		
ベーコン		

加工食品③		
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.2%と前年を上回った。 「納豆」：値上げの影響もあるが、販売数量も堅調に推移。コスバの良いプライベートブランド商品の人気が見られた。 「もずく・めかぶ」：気温上昇により、需要が拡大したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
加工食品③ TOTAL	104.2	-1.4
かまぼこ	102.8	-1.9
ちくわ	105.3	-0.7
はんぺん	100.6	-6.9
揚げ物		
納豆	107.6	-1.5
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ	115.4	3.2
豆腐類	105.3	0.2

菓子		
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.8%と前年を上回った。 「キャンディ」：インフルエンザ流行の影響か、のど飴が好調。インバウンド需要も寄与したと見られる。熱中症対策への効果を訴求するタブレット菓子の販売も伸長した。 「チューインガム」：外出増の影響で伸長したと見られる。 「スナック」：値上げの影響で販売金額が伸長したものの、販売数量は伸び悩んだ。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
菓子 TOTAL	105.8	-1.9
チョコレート		
キャラメル	105.8	-2.0
キャンディ	118.9	2.2
チューインガム	107.1	3.1
ビスケット&クラッカー	102.0	-0.0
スナック	110.7	-3.5
煎餅・あられ	107.1	-3.1
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品	104.5	0.3

嗜好品		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比112.9%と前年を上回った。 「アイスクリーム」：値上げの影響もあるが、気温上昇により販売数量の伸びも見られた。 「デザート類」：ゼリーが伸長。気温上昇の影響に加えて、前年同月に需要増で品薄となっていた反動のためと考えられる。 「麦茶」：気温上昇により需要が高まったと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
嗜好品 TOTAL	112.9	0.6
アイスクリーム	119.8	2.2
デザート類	110.7	6.9
ペビーフード	104.6	0.2
インスタントクリーム	106.1	-6.8
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	100.7	0.2
インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー		
紅茶		
ココア	101.3	-15.9
日本茶		
麦茶	112.8	3.4
中国茶	101.7	-0.8

飲料		
前月よりも伸長し、前年比113.2%と前年を上回った。気温上昇と外出増の影響で、スポーツドリンクや美容・健康ドリンクなど止渴系の商品を中心に需要が拡大したと見られる。 「乳酸菌飲料」：ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の好調が継続。 「乳酸飲料」：免疫力の向上効果を訴求する商品の好調に加えて、ミクスジュースやイチゴラテなどの新商品の寄与が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
飲料 TOTAL	113.2	1.3
牛乳	112.9	2.0
ヨーグルト	108.0	3.8
乳酸菌飲料	130.3	7.9
豆乳	104.7	2.4
100%ジュース	112.4	0.5
果汁飲料	129.0	10.8
トマトジュース	124.8	5.5
野菜ジュース		
コーラ	108.3	2.2
サイダー	112.7	-2.4
炭酸飲料	109.1	-6.1
コーヒードリンク	108.4	1.0
紅茶ドリンク	106.6	-7.3
液体茶	110.8	-0.6
スポーツドリンク	130.4	13.5
美容・健康ドリンク	133.7	8.2
栄養ドリンク	110.8	2.7
ミネラルウォーター類	120.7	-6.2
乳酸飲料	135.6	14.0

アルコール		
前月よりも落ち込み、前年比99.3%と前年を下回った。10月の酒税改正前の駆け込み需要が一部起きたものの、前年同期の値上げ前ほどの需要が見られなかったことが分かる。ウイスキーは、ハイボールの好調により前年を上回った。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
アルコール TOTAL	99.3	-7.1
ビール類		
ウイスキー	110.7	-16.5
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも伸長し、前年比109.6%と前年を上回った。販売金額の伸びには、値上げの影響も見て取れる。 「殺虫剤」：気温上昇により需要が高まったと見られる。 「絆創膏」：インバウンド需要に加えて、外出増に伴う需要増も見て取れた。 「大人紙おむつ」：軽失禁用のものの販売数量が伸びており、外出増が影響していると推察。 「使い捨てカイロ」：目元用の商品がインバウンド需要の寄与により伸長した。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
日用雑貨 TOTAL	109.6	2.4
歯ブラシ	104.4	2.4
歯磨き	109.3	2.5
マウスウォッシュ	102.7	4.4
義歯用剤	107.9	1.7
洗濯用洗剤	113.1	0.9
中性洗剤	119.1	15.2
漂白剤	114.0	5.3
柔軟剤	108.4	-1.0
台所用洗剤	114.4	6.1
住居用クリーナー	103.7	3.9
トイレ用クリーナー	105.7	7.0
バスクリーナー	104.4	8.1
パイプクリーナー	101.7	4.0
家庭用手袋		
化学雑巾	103.2	4.1
たわし・スポンジ	103.3	4.0
水切り袋	109.9	1.4
殺虫剤	116.6	13.7
防虫剤		
カビ防止剤		
芳香・消臭剤	108.8	10.1
トイレタンク用洗浄芳香剤	106.1	0.8
除湿剤	100.5	-2.4
ラッピングフィルム	111.8	-3.9
アルミホイル	111.7	-0.9
食品包装用品	101.2	-0.6
アルミガスマット		
ティッシュペーパー	112.1	-6.4
トイレットペーパー	104.6	-9.8
ペーパータオル	110.6	-0.7
ぬれティッシュ	101.7	9.8
使い捨て紙クリーナー	102.0	1.2
紙おむつ	108.2	-1.6
大人紙おむつ	121.5	3.0
生理用品	112.7	0.3
絆創膏	113.9	1.5
使い捨てカイロ	119.1	11.4
綿棒	112.8	6.9

ペット		
前月よりも落ち込んだものの、前年比109.4%と前年を上回った。各種ペットフードについて、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は苦戦した。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
ペット TOTAL	109.4	-1.5
ドッグフード	109.3	-0.9
キャットフード	117.5	-2.9
ペット用品	101.8	-2.1

化粧品		
前月よりも緩やかに落ち込んだものの、前年比122.0%と前年を上回った。 コロナ禍のマスク生活で落ち込んでいた口紅がとりわけ大きく伸長。おしろい・化粧下地などでも回復が見られた。 基礎化粧品の中で最も大きく伸長しているパックでは、国内需要に加えてインバウンド需要の寄与もあったものと考えられる。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
化粧品 TOTAL	122.0	-0.3
クレンジング	116.4	0.3
洗顔クリーム	115.0	-3.7
化粧水	114.7	2.1
乳液	111.0	-3.9
栄養クリーム	116.8	3.3
パック	155.6	8.8
美容液	118.7	4.4
化粧下地	131.5	4.5
ファンデーション	119.4	0.8
おしろい	140.0	3.7
口紅	191.5	21.3
眉目料	106.9	-2.9
マニキュア	104.0	-2.3

医薬品		
前月よりも伸長し、前年比114.6%と前年を上回った。 総合感冒薬・鎮咳去痰剤・口腔用薬などの風邪関連薬が、前年比160%を超える大幅な伸長。インバウンド需要だけではなく、インフルエンザの流行に伴い国内需要も堅調。ミニドリンク剤や漢方薬の伸長も、インフルエンザの流行が影響していると見られる。 整腸薬や外用鎮痛消炎剤などの医薬品でも、インバウンド需要が堅調と見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
医薬品 TOTAL	114.6	11.9
コンタクト用剤	109.5	-0.7
マスク		
ミニドリンク剤	121.6	13.8
漢方薬	123.2	14.2
総合感冒薬	160.3	42.5
鼻炎治療剤	112.3	3.1
解熱鎮痛剤	119.6	28.9
鎮咳去痰剤	164.2	46.5
口腔用薬	161.9	59.8
胃腸薬	114.6	2.5
整腸薬	140.8	8.2
外用鎮痛消炎剤	128.6	5.9
皮膚用薬	112.3	14.4
目薬	118.7	2.4
健康食品	118.0	5.8

石鹸・ヘアケア		
前月よりも伸長し、前年比109.9%と前年を上回った。 「シャンプー、ヘアリンス、ヘアトリートメント」：ダメージケアの効果を訴求する商品が好調。 「アウトバスヘアケア」：外出増によりスタイリング需要が高まっていると見られる。 「制汗剤」：気温上昇と外出増により、需要が拡大したと見られる。外出中に使用しやすいシートタイプがとりわけ好調。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
石鹸・ヘアケア TOTAL	109.9	1.1
石鹸	106.3	3.9
入浴剤		
シャンプー	112.6	2.1
ヘアリンス	108.8	1.7
ヘアトリートメント	111.7	-4.1
アウトバスヘアケア	111.2	-0.8
ヘアカラー	102.6	0.7
育毛トニック	104.7	4.6
制汗剤	130.3	5.5

化粧品		
前月よりも伸長し、前年比114.6%と前年を上回った。 コロナ禍のマスク生活で落ち込んでいた口紅がとりわけ大きく伸長。おしろい・化粧下地などでも回復が見られた。 基礎化粧品の中で最も大きく伸長しているパックでは、国内需要に加えてインバウンド需要の寄与もあったものと考えられる。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
化粧品 TOTAL	122.0	-0.3
クレンジング	116.4	0.3
洗顔クリーム	115.0	-3.7
化粧水	114.7	2.1
乳液	111.0	-3.9
栄養クリーム	116.8	3.3
パック	155.6	8.8
美容液	118.7	4.4
化粧下地	131.5	4.5
ファンデーション	119.4	0.8
おしろい	140.0	3.7
口紅	191.5	21.3
眉目料	106.9	-2.9
マニキュア	104.0	-2.3

医薬品		
前月よりも伸長し、前年比114.6%と前年を上回った。 総合感冒薬・鎮咳去痰剤・口腔用薬などの風邪関連薬が、前年比160%を超える大幅な伸長。インバウンド需要だけではなく、インフルエンザの流行に伴い国内需要も堅調。ミニドリンク剤や漢方薬の伸長も、インフルエンザの流行が影響していると見られる。 整腸薬や外用鎮痛消炎剤などの医薬品でも、インバウンド需要が堅調と見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2023年9月	前月差 2023年9月
医薬品 TOTAL	114.6	11.9
コンタクト用剤	109.5	-0.7
マスク		
ミニドリンク剤	121.6	13.8
漢方薬	123.2	14.2
総合感冒薬	160.3	42.5
鼻炎治療剤	112.3	